

時鐘

平成30年7月6日
金武小 第5号
校長 森元幹生

家庭での学習について

本校歴代校長の伝統である「がんばりノートの確認」を534人分、年間を通して行っております。ノートの最後に評価を記しています。合格は「B」、工夫されているノートは「A」、もっと頑張ってもらいたいのは「C」です。ときおり部活動前の地面の上、体育館のステージ裏等でノートを広げている子どもがいますが、要は「集中力」です。間違った漢字、または覚えていない漢字を何行も書き続ける…スペースが余ったので中・高学年でもかけ算九九を記入する…。

がんばりノート

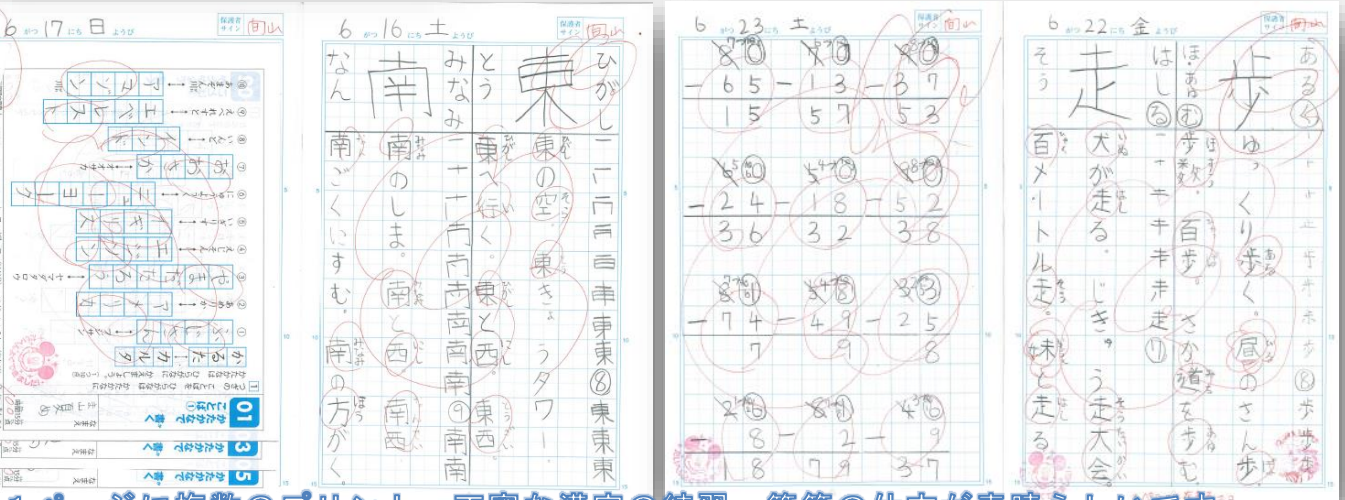
4号



金武小：くじけず最後までやりぬく

金武町立 金武小学校

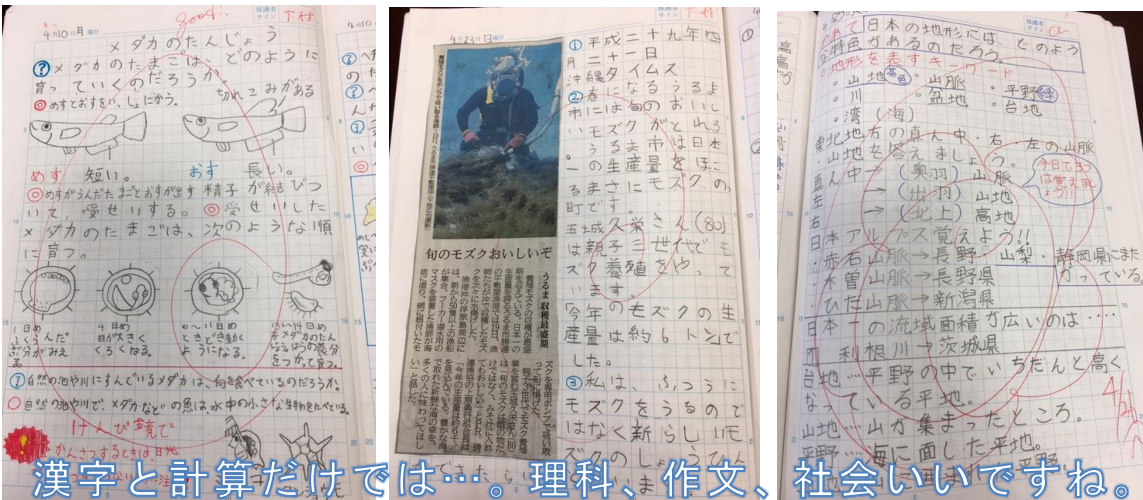
2年3組23番 名前 間山 なつめ



1ページに複数のプリント、丁寧な漢字の練習、筆算の仕方が素晴らしいです。

「A」評価よりさらに頑張りを、発達段階も考慮しての、「他の人の模範となるノート」を「S」評価としています。今回低学年で初めてではないでしょうか、「S」評価をつけました。平日の宿題、休日の自分の課題などを毎日丁寧な字で見事にやり遂げています。

話は変わりますが、ブラインドタッチで、ローマ字が難しい、ましてやローマ字の小文字がわからないという3年生がいました。ローマ字表を見ながらホームポジションを意識してキーボードに向かっていました。昨日、「先生、私もう、ローマ字表いりません。」と素敵な笑顔で話してくれました。「継続は力なり」ですね。



漢字と計算だけでは…。理科、作文、社会いいですね。